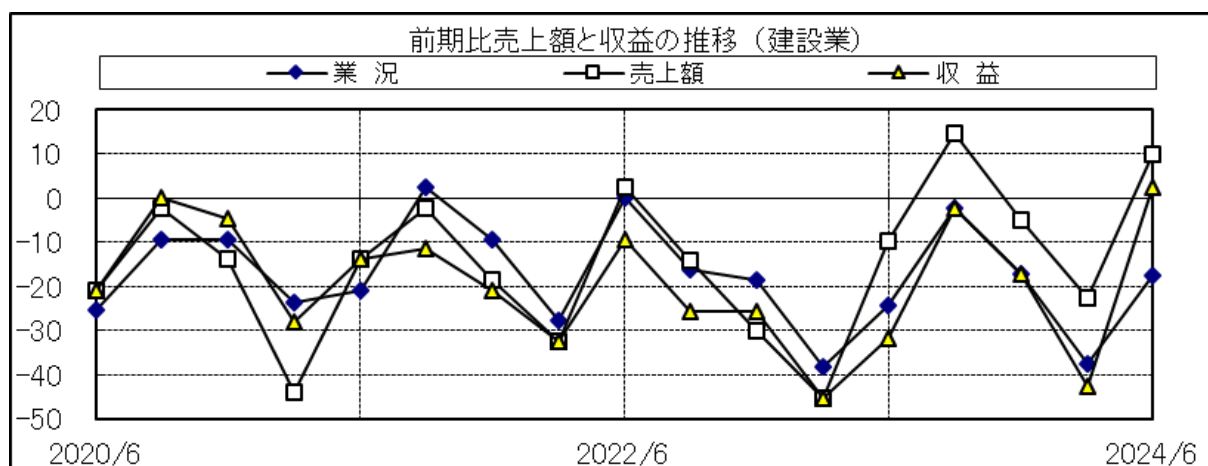


建設業 40 企業（回答率 100.00%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
業 況	-17.1	-37.5	-17.5	-7.5
売上額	-5.0	-22.5	10.0	17.5
収 益	-17.1	-42.5	2.5	0.0

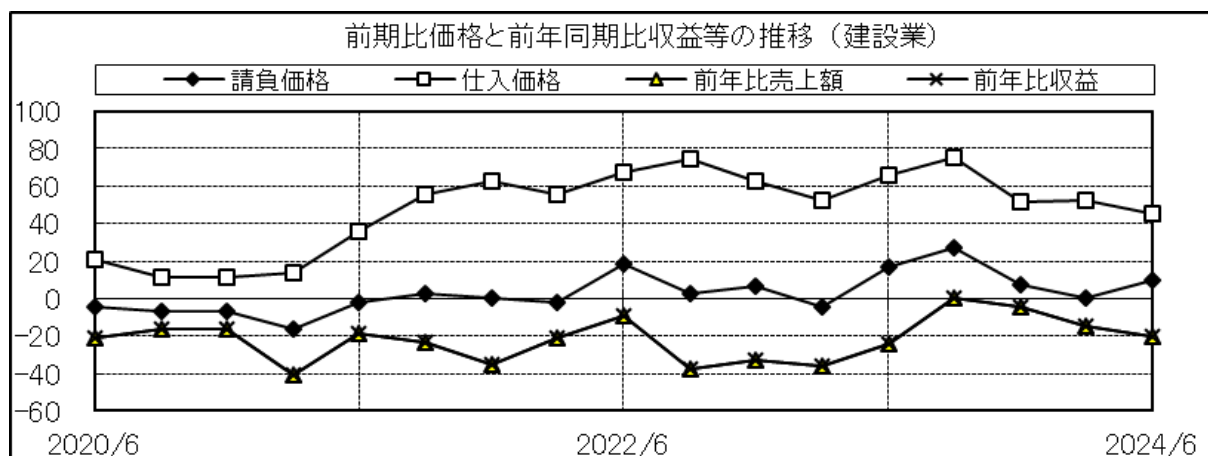
今期の業況判断 D. I. は△17.5 で、前期比 20.0 ポイント上昇、前年(△24.4)比で 6.9 ポイント上昇した。地区別 D. I. の水準は高い順に、静内が最も高く、次に三石・様似・えりもが同率、浦河と続き、広尾が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は、10.0 で、前期比 32.5 ポイント上昇。収益判断 D. I. は 2.5 で、前期比 45.0 ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
請負価格	7.2	0.0	10.0	5.0
仕入価格	51.2	52.5	45.0	32.5

請負価格判断 D. I. は 10.0 で、前期比 10.0 ポイント上昇、前年(17.0)比では 7.0 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 45.0 で、前期比 7.5 ポイント下降した。前年(65.9)比では 20.9 ポイント下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
残業時間	-2.4	-2.5	-15.0	0.0
人手状況	-29.4	-35.0	-47.5	-55.0

残業時間判断 D. I. は△15.0 で、前期比 12.5 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△47.5 で、前期比 12.5 ポイント下降し、人手不足感には強まった。

□ 設備投資の動き

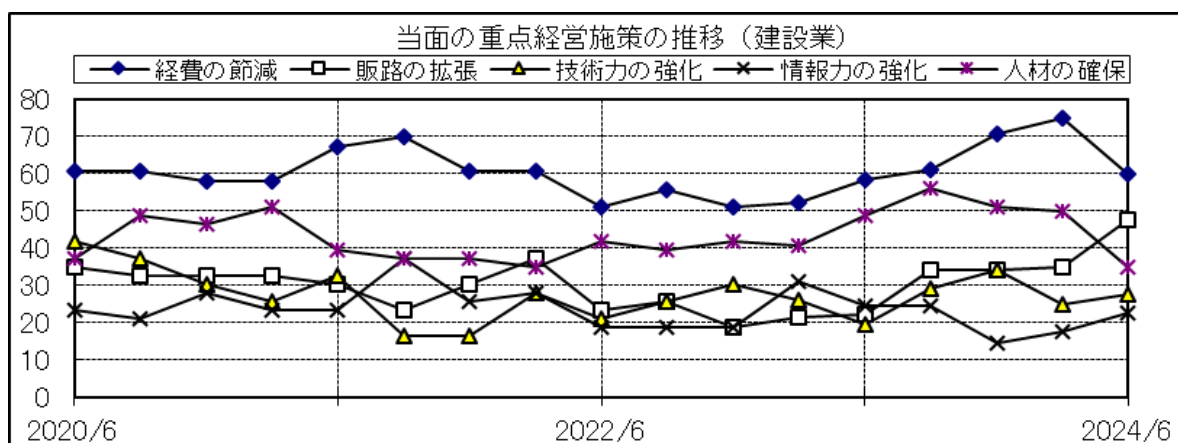
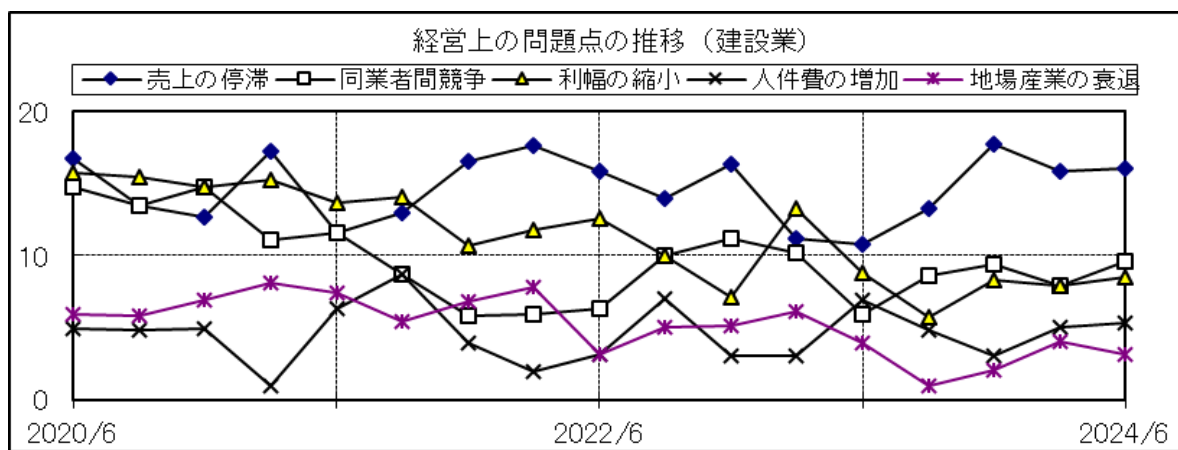
設備投資の充足感を示すD. I. は△5.0で、前期(△5.0)と同水準となった。

設備投資実施企業割合は12.5で、前期(10.0)比2.5ポイント上昇した。設備投資は、前期4社に対し、5社の実施となった。来期の設備投資は、3社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「材料価格上昇」が19.1%と最も多く、次に「人手不足」18.1%、「売上停滞減少」16.0%、「同業者競争」9.6%、「利幅縮小」8.5%、「下請確保難」6.4%、「人件費増加」5.3%、「技術力不足」4.3%、「天候不順」・「地場産業衰退」が3.2%、「大手企業競争」・「諸経費増加」が2.1%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が60.0%と最も多く、次に「販路拡大」47.5%、「人材確保」35.0%、「技術力強化」27.5%、「情報力強化」22.5%、「労働条件改善」5.0%、「新事業開始」・「パート化」が2.5%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△7.5と、今期比10.0ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は17.5と、今期比7.5ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は0.0と、今期比2.5ポイントの下降を見通している。

予想請負価格判断D. I. は5.0と、今期比5.0ポイントの下降を見通している。

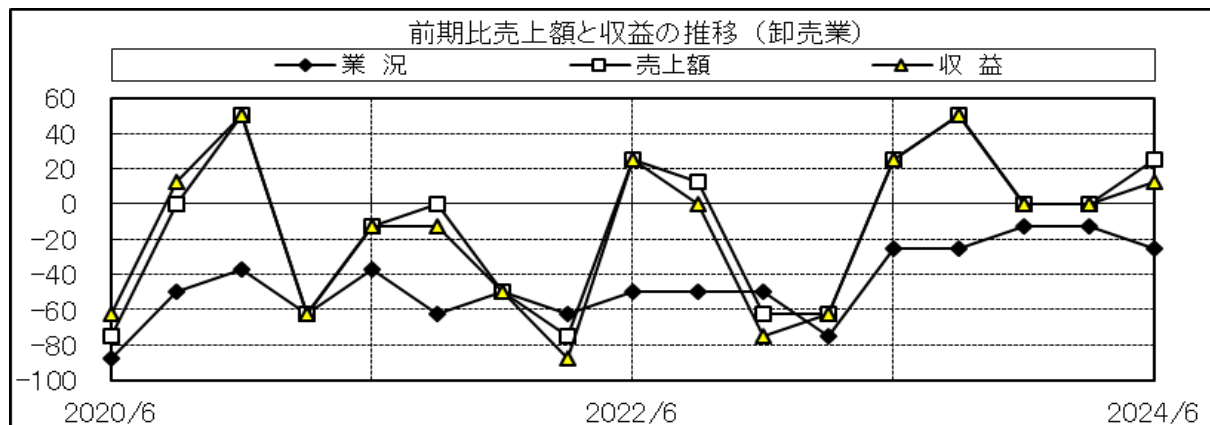
予想仕入価格判断D. I. は32.5と、今期比12.5ポイントの下降を見通している。

卸売業 8 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
業 況	-12.5	-50.0	-25.0	-25.0
売上額	0.0	-37.5	25.0	50.0
収 益	0.0	-37.5	12.5	37.5

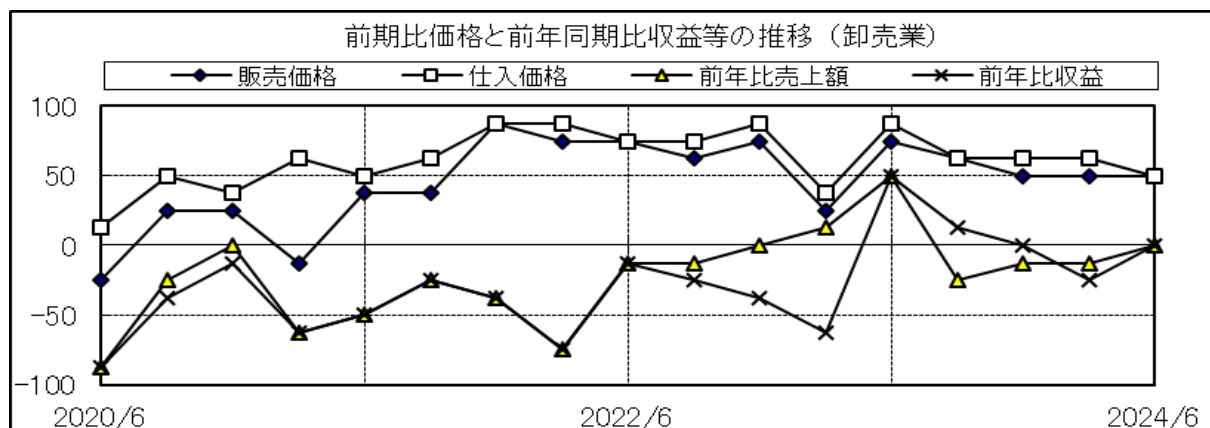
今期の業況判断 D. I. は $\Delta 25.0$ で、前期比 25.0 ポイント上昇。前年 ($\Delta 25.0$) と同水準となった。地区別 D. I. の水準は、静内地区は上昇、浦河・様似地区は横這いとなった。売上額判断 D. I. は 25.0 で、前期比 62.5 ポイント上昇した。収益判断 D. I. は 12.5 で、前期比 50.0 ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
販売価格	50.0	37.5	50.0	37.5
仕入価格	62.5	50.0	50.0	37.5

販売価格判断 D. I. は 50.0 で、前期比 12.5 ポイント上昇。前年 (75.0) 比 25.0 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 50.0 で、前期と同水準となった。前年 (87.5) 比では 37.5 ポイント下降した。業種別では、水産業は販売、仕入価格ともに横這い、食品業は販売、仕入価格ともに上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
残業時間	0.0	0.0	-12.5	-12.5
人手状況	0.0	0.0	0.0	0.0

残業時間判断 D. I. は $\Delta 12.5$ で、前期比 12.5 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断 D. I. は 0.0 で、前期と同水準となり、人手不足感に変化は無かった。

□ 設備投資の動き

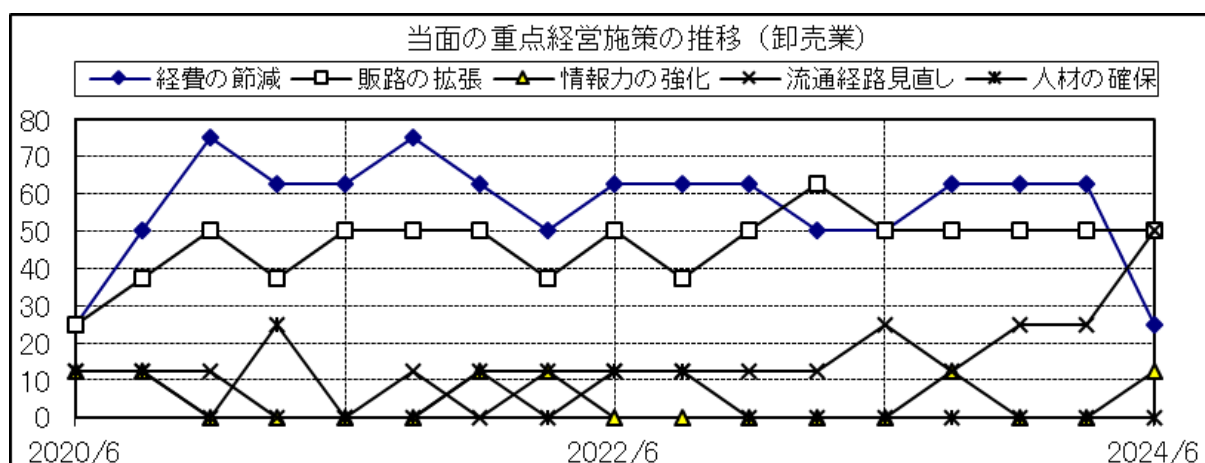
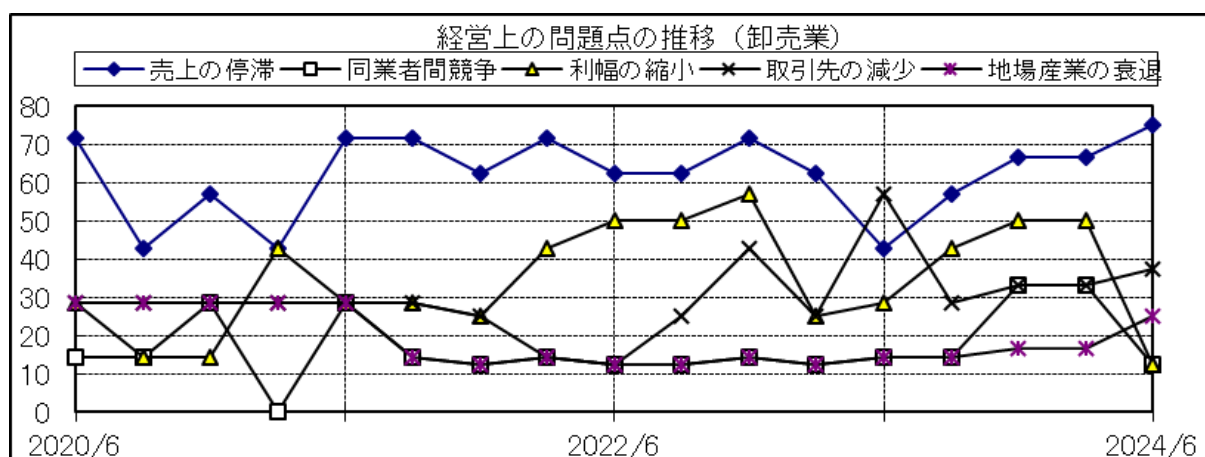
設備投資の充足感を示すD.I.は0.0で、前期(△12.5)比12.5ポイント上昇した。

設備実施企業割合は12.5で、前期(12.5)と同水準となった。設備投資は、前期1社に対し、1社の実施となった。来期の設備投資は1社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が75.0%と最も多く、次に「取引先減少」37.5%、「値上
要請」・「地場産業衰退」が25.0%、「同業者競争」・「利幅縮小」・「人件費増加」・「店舗老朽化」・
「天候不順」・「為替レート変動」が12.5%となっている。

重点経営施策では、「販路拡大」・「流通経路見直し」が50.0%と最も多く、次に「経費節減」
25.0%、「情報力強化」・「新事業開始」・「取引先支援」・「不動産有効活用」が12.5%となっ
ている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は△25.0と、今期と同水準を見通している。

予想売上額判断D.I.は50.0と、今期比25.0ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D.I.は37.5と、今期比25.0ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D.I.は37.5と、今期比12.5ポイントの下降を見通している。

予想仕入価格判断D.I.は37.5と、今期比12.5ポイントの下降を見通している。